

2006 年度

科目名 <p style="text-align: center;">日本文学講読Ⅴ</p>	対象学科・学年 <p style="text-align: center;">文学部日文1回生</p>	担当者 <p style="text-align: center;">新井 由美</p>
授業テーマ <p style="text-align: center;">幻想文学（短編小説）を読む</p>		
授業の概要と目標 <p>短編小説の読解を通して、文学テキストを読むとはどういうことかを理解してもらい、幻想文学というジャンルに触れることで、それぞれの作者が示す小説世界ならではの想像力の豊かさを感じ取ってもらいます。それぞれの作品の成立背景や作家についての基礎知識にも触れます。また、幻想＝現実離れと考えず、現代に生きる我々にも通じるような問題や感情のあらわれを考える契機としてほしいと思います。</p>		
評価方法 <p>出席状況、受講態度、授業中の課題、試験等で総合的に判断します。</p>		
テキスト <p>授業中に配布するプリントを使います。</p>	著者	出版社
参考書 <p>授業中に適宜指示します。</p>	著者	出版社
授業スケジュール・内容 <p>初回の授業で今後使用するプリントを配布し、授業に関するガイダンスを行なうので、受講予定者は必ず出席してください。また当該作品は必ず前もって読んでおくことを出席の前提とします。授業中に課題（もしくは宿題）を出すことがあります。</p> <p>第 1 回 短編小説の定義・「読む」とはということか 第 2 回 幻想文学の定義・日本幻想文学史の概要 第 3 回 幸田露伴「対髑髏」を読む 第 4 回 北村透谷「宿魂鏡」を読む 第 5 回 泉鏡花「星あかり」を読む 第 6 回 小泉八雲「怪談」を読む 第 7 回 森鴎外「鼠坂」を読む 第 8 回 夏目漱石「趣味の遺伝」を読む 第 9 回 志賀直哉「剃刀」を読む 第 10 回 芥川龍之介「魔術」を読む 第 11 回 小川未明「赤い蝋燭と人魚」を読む 第 12 回 内田百閒「冥土」を読む 第 13 回 葉山嘉樹「セメント樽の中の手紙」を読む 第 14 回 梶井基次郎「桜の木の下には」を読む 第 15 回 試験</p>		